

コミュニティ・スクールだより

令和3年度の第十小学校第2回学校運営協議会は、8月4日（金）に開催されました。以下、その概要を記します。

※ 熟議「育てたい十小児童像を見据えた2学期の取組構想について」

「ゆめ部会」「なかよし部会」「げんき部会」の3部会で実施しました。

（参考）【学校教育目標 具体目標「めざす児童の姿」】

- 「ゆめ」に向かって自ら学びねばり強く取り組む子
- みんなと「なかよく」できるやさしい子
- “こころ”も“からだ”もたくましい「げんき」な子

新島校長先生より、熟議テーマについて確認後、熟議を行いました。

参加者は、以下のとおりです。【敬称略】

館林市教育委員会生涯学習課岡戸課長、同課山口青少年係長、同課青少年係新井主任、同課生涯学習係奈良主任、本校学校運営協議会委員、本校教職員、合計23名でした。

「ゆめ部会A」、「ゆめ部会B」、「なかよし部会A」、「なかよし部会B」、「げんき部会A」、「げんき部会B」の6部会で行いました。熟議の概要は、以下のとおりです。

☆「ゆめ部会A B」

- 子どもに体験をさせる活動、工業団地など地域を調べることも意義がある。それには、教師による課題の提示、仕掛けが必要だ。
- 学校西側歩道沿いの花壇の一面は、成島ゴルフ同好会の方が管理・整備してくれている。チューリップの球根を植えたときには、球根を地域の方がもらいに来た。花壇整備を通して、地域の方とつながりもできる。
- 学校から地域へ、ボランティア要請等をその都度依頼できる。しかし、地域から学校への依頼はしづらい面がある。時には、学校（職員）から地域にアクションを起こすことも必要だ。
- 幼稚園と小学校との交流の手立てとして、草花活動も考えられる。お互いが育てた草花を送りあうことで、交流ができる。
- 家庭でも子どもに身近な体験活動をさせてほしい。子どもにお手伝いやいろいろな体験をさせることで、スマホやゲームの時間を減らすことができる。
- コミュニティ・スクールを考える上で、公民館は中核となる存在だ。子どもや学校と地域をつなぐ立場で、様々な交流が始まる起点となる場だ。
- コロナ禍の現状で、今後、学校と地域はどうつながりを維持したり、作ったりしていくかも考えて行かねばならない。
- 1学期、学校では休み時間中のけがが多かった。ストレッチや体の動かし方など、近隣の高校生を講師として迎えることも考えられる。
- 小中9年間、子どもは「ゆめカード」を作成している。自己との振り返りにも活用できる。
- 地域の工場見学や施設見学を通して、職業のことを知ることもできる。ゆめ（職業）に対して、子どもは視野が広がるはずだ。見て、触れて、体験して、生きた学びになる。



☆「なかよし部会A B」

- 先生方は、忙しく、いろいろ大変だと思う。コミュニティ・スクールを考えると、学校としての課題・要望をまず確認してほしい。
- 学校教育と家庭教育、社会教育とのかかわりを考え、どう築いていくか。
- 学校と地域との連携を図るためには、公民館が主体になることがポイントだ。いろいろな機関や団体をつなぐことのできる立場だ。
- 公民館と併せて、生涯学習課のかかわりも大きい。行政が動くことで始められる活動もある。
- 十小は、多々良地区、六郷地区とのかかわりもある。地域によって活動に違いはあるが、関係性は続けていくことだ。
- 外国籍の児童や保護者に対してはどうか。今後も地域とのつながりを密にしていくことが必要だ。
- 取り組みたいことや活動したいことを、やりやすく、取り入れやすいようにしていくことが大事だ。
- コロナ禍の中での活動の仕方も考えて行く必要がある。コロナ禍を考慮した仕組みを一層、整えることだ。
- 行政や組織が交流する仕組み・体制（例えば、地域学校協働本部など）を作らないと前に進まないこともある。地域によっては、取組が始まっているところもある。
- 放課後子ども教室（西公民館＋十小）
 - ・地域の方に講師となってもらい、体験活動を行う。
（近藤工業団地工場見学、グランドゴルフなどのスポーツ活動、女性セミナー、など）
 - ・地域の人や公民館使用団体の方に講師になってもらうおさらい教室。西ダッシュ村。
- あいさつがよりできるようになる環境づくり
 - ・学校だよりなどの広報活動
- 読み聞かせ活動の充実

☆「げんき部会A B」

- コロナ禍後には、福祉施設の方との交流、高齢者教室の方との昔遊び、などをもっと他の学年に広めていきたい。
- 十小では休み時間中のけが、骨折が多かった。（5月、6月に6件）
 - ・体育の授業では、ストレッチを入念に行い、体幹を鍛え、とっさの時に手が前に出せるようにしている。
 - ・給食センターとも連携し、栄養のバランスを知る学習も実施している。
 - ・高校生にボランティアチューターとして来てもらうことも考えている。
- 職業（キャリア）教育につながる活動
 - ・コンピュータ、美容、看護（応急手当）など、その関係の専門の方を講師に迎えたい。子どもたちに、体験活動を増やしたい。
- 早寝・早起き・朝ごはん
 - ・早く寝るための工夫。家庭のルール。ゲームやスマホ使用の制限ルール。
 - ・公民館で、おにぎりや野菜を食べる活動。（コロナ禍後）
 - ・体を動かす活動、スポーツ活動
- 様々な体験活動
 - ・外遊び、地域の行事への参加、放課後子ども教室、家や学校以外で子どもが活動できたり、運動できたりする場の確保や提供。

保護者及び地域の皆様、ご意見やご提案等、よろしくお願いします。

十小コミュニティ・スクール事務局【74-8733（担当：田野入または森脇教頭）】